

文章題テスト・小説(5)

月 日
名 前

★ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひさしぶりに、のっそりアトリエをのぞくと、ママは大玉ころがしのボールみたいな、丸い粘土ねんどにとりついていて、中は空洞くうどうになっていて、入り口いりぐちさえあれば、わたしが中にはいって、しゃがめそうなくらいだ。

ママは、その表面のあちらこちらに、小さな穴あなを開けているところだった。

「なに、これ？」

わたしは、さもばかにしたような声でつぶやいた。

「宇宙うちゅうよ、宇宙。」

2 ママは悪びれずに答えた。

最近ママは、食器や花びんのような実用品だけでなく、てんで役にもたたないオブジェとやらを作りだしている。いよいよアーティストをきどっている。

「どこが宇宙よ。」

「いやあね、加奈子かなこまで。パパみたいなこと、いわないですよ。ほら、宇宙でしょうが。この穴から中をのぞいてごらん。ねえ、やっぱり宇宙でしょう。そうだ、中にいくつか豆電球をつるそうかしら。銀河系けいやアンドロメダ大星雲にするの。色いろだなあ。釉薬ゆうやくが勝負しょうぶだなあ……。」

「あほらしいー。」

けれど、《コスモス・二〇〇二》と名づけられたその作品は、のちに、大きな陶芸とうげいコンクールで金賞をいとめた。ママは二百万円も、賞金をもらったのだ。小さな記事だけれど、新聞に名前ものった。

びっくりした。

ママはすごく才能ある芸術家だったのだ！

ママの信じたとおりだったことが、なぜか、とてもショックだった。

3 パパとわたしは、けっきょく、ママの足を引っぱってきただけなのかもしれない。パパ



にはばかにされたり、非難なんされたり、わたしにはめいわく顔しかされたことがない中で、ひたすら土と向きあってきたママは、ひどく孤独こどくだったにちがいない。

そう思うと、胸むねがきゆうっ、としめつけられた。

世の中には、ママの才能みとを認め、作品を高く評価する人たちがいた。それを受賞という形かたちでつきつけられると、ママにとっていちばんたいせつな世界から、はじきだされたよう4な自分を感じ、悲しかった。

でも、どうしたって、わたしには、あれは宇宙に見えなかった。タコ焼きのお化けにしか見えなかった……。

そう、ママの受賞はいろんな意味で、うれしいよりも、ショックだった。

わたしは、いてもたってもいられず、勤務きんむ中のパパにこっそり電話をかけた。パパとなら、この気持ちを分かちあえるはずだった。

受賞のこと、とりわけ賞金しょうきんのことを話したら、パパは、

「そうか……。」

と、いって、しばらくだまりこんだ。

ほら！ わたしと同じように、わたしと同じくらい、ぞっとしたのだ。

5 重い荷物を半分。パパにあずけたようで、わたしは少しほっとした。

(今井 恭子「歩き出す夏」より)

(注) オブジェ…作品

紬薬…焼き物にぬって色づけをする薬

1 線「大玉ころがしのボール」とありますが、同じものを「わたし」は、ほかに何にたとえていますか。文中から八字で書きぬきなさい。

タコ焼きのお化け

「ママ」は「宇宙」と表現している。文章後半の、「わたしには、あれは宇宙に見えなかった。……」に着目できると容易。

2 線「口」は、物の形をかたどってできた漢字ですが、これと同じ成り立ちの漢字を、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア 上 イ 花 ウ 鳴 **エ** 子

「♀↓♀↓子」象形文字という。アは意味を図形や記号で表した漢字(指事文字)、イは意味を表す部分(サ)と音を表す部分(化)を組み合わせた漢字(形声文字)、ウは漢字の意味を組み合わせた漢字(会意文字)である。



3 線2「ママは悪びれずに答えた」とありますが、これは「ママ」のどのような態度を示していますか。最も適当なものを、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア 自分の作品を娘にわか^{むすめ}ってもらおうと必死になっている。

イ ○ 自分の作品を何と言われようと気にせず心から楽しんでいる。
 「悪びれず」とは、気おくれせずにどうどうとしている様子。陶芸に対する「ママ」の姿勢が読み取れる表現。5行後の「ママ」の言葉からも、人の評価を気にせずに、心から陶芸を楽しんでいることが感じ取れる。

ウ 自分の作品のよさがわからない娘をけいべつしている。

エ 自分の作品はアーティストにしかわからないと氣どっている。
 心から陶芸を楽しんでいることが感じ取れる。

4 線3「ママの足を引っぱってきた」とありますが、パパとわたしは、ママに対してどのような態度や行動をとったのですか。文中の言葉を使って、具体的に三つ書きなさい。

ばかにした

非難した

めいわく(な)顔をした

(順不同) 直後の文「パパにはばかにされたり、非難されたり、わたしにはめいわく顔しかされたことがない」が具体例。

5 線4「ママにとって……、悲しかった」とありますが、この時の「わたし(加奈子)」の気持ちを説明したものとして最も適当なものを、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア ○ ママが夢中になっている陶芸を「わたし」には理解できないと言われた気がして悲しく思っている。

イ パパと「わたし」の行動がママを孤独^{こどく}にしてしまっていたことに気づいて悲しく思っている。

ウ もうママが陶芸をやめることはないだろうと考えるとうんざりし、悲しく思っている。

エ ママが自分ひとりで賞金を使おうとしていることに腹立たしきを感じ、悲しく思っている。
 「ママにとっていちばんたいせつな世界」が陶芸の世界であることをおさえる。その世界からはじきだされるとはどういうことか。

6 線5「重い荷物」とありますが、どのようなことを表現しているのですか。次のように説明するとき、①、②に当てはまる言葉を、文中からそれぞれ五字以内で書きぬきなさい。

「わたし」が ① によって心に受けた ②

① ママの受賞

「ショック」という言葉がくり返し使われていることに着目しよう。

② ショック

この気持ちは何から生まれたものか。また、いっしょに「ママの足を引っぱってきた」パパとなら、この気持ち(ショック＝重い荷物)を分かちあえるだろうということ。

